

おばま 市議会だより

No. 169

トピックス(令和3年9月補正予算)	P2
市政を問う！一般質問	P4
令和2年度決算を認定	P8
特集:決算審査で管内視察を実施	P12

9月補正予算のトピックス

【可決した9月補正予算】

会計名	既決予算額	9月補正額	合計
一般会計	164億7,468万円	4億2,944万円	169億412万円
特別会計	78億2,753万円	68万円	78億2,821万円
企業会計	33億9,643万円	△296万円	33億9,347万円
合計	276億9,864万円	4億2,716万円	281億2,580万円

問 今後の事業継続方針および市の役割は。

答 今年度はコロナ禍の影響

説明 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、営業収益の減収に見舞われる農業者・漁業者を対象に、各生産者の栽培情報を取りまとめたカードを作成して消費者に配布することにより、情報を「見える化」し、栽培意欲の向上を図るもの。

農業者・漁業者への支援

生産者販売促進支援事業 199万6000円

を鑑み、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当して事業を実施するが、2、3年程度は事業を継続する方向で考えている。食のまちづくりを進める上で、一次産業への支援は必須であると考えており、生産者カードの作成は市で行うが、それを活用したPRは各生産者において行っていく。



利用促進ポスター

JR小浜線の利用を促進!

乗って残そう小浜線利用促進事業 229万円

説明 小浜市独自の利用促進策として、回数乗車券購入代金の50%を助成するもの。

問 なぜ回数券にしたのか。予算の算出根拠は。

答 現在、小浜線利用促進協議会において定期券購入に対する助成を実施しているため回数券とした。小浜・敦賀間の回数乗車券購入代金99000円の44組分として算出した。

問 事業名の「乗って残そう」の表現の意図は。

答 地域住民にJR小浜線の利用客が減少している現状を伝え、危機感を持ってもらえるような表現を使用した。

意見 今後のJR小浜線の在り方において、現在重要な局面を迎えている。

JR西日本の減便方針などに対する本市の意思を踏まえたい上で、関係者などに誤解が生じないように、各種表現には十分配慮していく必要がある。



若狭力キ養殖



稲刈り

秋の議会報告会を中止します

議会では、小浜市議会基本条例に基づき市民とともに歩む開かれた議会を実現するため、議会報告会を年1回以上開催することと定め活動してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、市民の皆様の安全・安心を守るという観点から、中止と判断させていただきました。市民の皆様と対面して実施することはできませんが、メールなどを通してご意見をいただけますと幸いです。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

E-mail : gikai@city.obama.fukui.jp

委員会審査の主なもの

予算決算常任委員会
(9月補正)

マイナンバーカードの取得促進
住基ネットワーク事務経費
181万6000円

説明 各公民館などでのマイナンバーカード出張申請サポートなどにより、マイナンバーカードの取得促進を図るもの。

問 リース機器の活用方法は。
答 現在、マイナンバーカードの交付にかかる総合端末機1台を市民福祉課窓口を設置している。今回、庁舎裏口の市民サービスコーナーへ持ち運び可能な端末機を追加リースし、土日における交付業務の迅速化および申請者への負担軽減を図ることに、マイナンバーカードの交付率向上を目指す。



需要が高まるテイクアウトをさらに促進

小浜の食テイクアウト
定着事業
2830万円

説明 新型コロナウイルス感染症の影響により、需要が高まるテイクアウトをさらに促進させるとともに、市内飲食店の新たな魅力を消費者に見ていただくことにより新規顧客の獲得につなげ、持続的な経営の安定を図るもの。

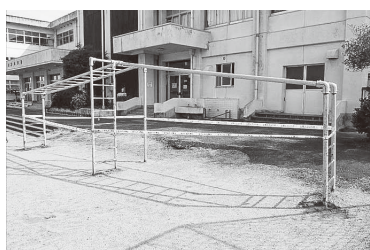
問 昨年度に実施した同様の事業からの変更点は。
答 今回は参加店舗に通常テイクアウトメニュー2品に加え、ランチメニュー2品を提供した点と、新幹線開業を見据え、昼食が可能な飲食店の発掘も目的としている。また、事業期間は3カ月間を予定しているが、事業の実施期間を複数に区切るなど、利用時期の分散を図ることを検討している。

小学校施設の老朽化などによる改修

小学校施設改修事業
1238万2000円

説明 体育館の屋根改修のほか、令和2年度に実施した遊具点検の結果を踏まえ、使用できない危険な遊具を撤去するもの。

問 撤去されることとなる鉄棒、雲梯の取り扱い、および撤去後の設置方針は。
答 一般的に校庭に設置してある鉄棒や雲梯については、体育設備の側面も有しているが、遊具として取り扱われることが多い。体育館で使用する鉄棒や登り綱など、撤去する遊具に代わるものも多くなり、必要に応じて新設を検討していく。



撤去される雲梯

総務民生常任委員会

条例審査

小浜市監査委員に関する条例の一部改正について

説明 小浜市監査委員の定数を3名から2名に変更するに当たり、所要の改正を行うもの。

問 定数削減に伴う監査機能低下を懸念するが、どのように考えているのか。
答 本事案に関しては市監査委員ともこれまで協議がなされてきており、その経緯を踏まえ、監査委員1名の任期満了にあわせて本改正を提案することとした。今後、監査委員1名当たりの業務負担が増加することへの懸念はあるが、予備調査のさらなる充実などにより、監査機能および精度の維持は可能であると考えている。

陳情審査

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

を推し進めるよう求めていくべきである。

産業教育常任委員会

請願審査

新型コロナウイルス禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める請願書

内容 米の過剰在庫を政府が緊急買い入れし、米の需給環境を改善し、今年産米の過大な生産調整を回避することや、政府が買い上げた米を生活困窮者などへの食糧支援で活用すること、当面、国産米の需給状況に応じた輸入数量調整を実施することについて、政府に対して意見書の提出を求めるもの。

意見 日本の都合だけでミニマムアクセス米の輸入調整を実施するのは困難。需要に応じた作付面積に抑えられなかった生産者の課題もあり、政府が安易に買い上げを行うことにより、生産調整が効かなくなることが危惧される。

市政を問う！一般質問

令和3年第3回（9月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1. コロナ禍の経済対策と支援 2. 経営プランの財政効果 3. 第8期介護保険事業計画と団塊世代への対応	能登 恵子	1. 生理用品の整備や配布について
杉本 和範	1. 市内コロナ感染状況と今後の取り組み 2. 保育園・認定こども園・小学校連携の必要性	下中 雅之	1. 地域包括ケアシステムについて 2. 小浜市の子ども医療費助成の考えについて
坂上 和代	1. 加齢性難聴問題に対する取り組みについて 2. 原子力行政等に関連する事項について	東野 浩和	1. 日本遺産を活用した観光の推進について 2. 顕彰事業の促進と重要性について
熊谷 久恵	1. 公共施設における感染症対策と体制について	今井 伸治	1. 新型コロナウイルスワクチン接種について 2. 北陸新幹線と小浜線の現状について 3. 防災について

小浜市議会インターネット映像配信

> トップ > 会議名 > 議員名

録画配信

※本会議の録画映像をご覧いただけます。

令和3年第3回小浜市議会定例会



令和3年第3回定例会
9月9日 本会議 一般質問

③動画を閲覧

小浜市議会インターネット映像配信

> トップ > 会議名 > 議員名

会議名から選ぶ

※日程一覧から選択してください。

令和3年第3回定例会	
8月26日（木）	本会議 開会
9月9日（木）	本会議 一般質問
9月10日（金）	本会議 一般質問

Copyright (c) Obama City Assembly, All rights reserved.

②閲覧したい動画を選択

①QRコードを読み取る。



一般質問など、本会議の様子を動画でもご覧いただけます。

問 平成23年度から10年間の行財政改革のよりよい未来を目指して①小さな行政への転換②持続可能な財政運営③経営感覚を持った行政機構の整備④市民との協働体制の確立

どう取り組んで来たのか、財政効果は、いくらを伺う。

答 小浜市行財政改革行政経営プランの主な財政効果は、実施機関連の累計として、歳入の増収効果額27億7000万円、歳出の削減効果額6億3000万円、総額34億円の財政効果。



風呂 繁昭

第5次行財政改革の効果、総額34億円

問 市内の経済の現状と経済対策を伺う。

答 市内企業においては本年4月以降少しずつ経済活動が活発化している。また、対策は地域を支える「おばまチケットR3」循環事業とキッチンカー導入支援事業を進める。

問 コロナ禍の生活困窮者への支援に「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援基金」があるが、それらを含めた支援を伺う。

答 「緊急小口資金等の特別貸付」は特例措置により返済する時点において所得の減少が続き、住民税非課税世帯に該当する場合は免除される。新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金は世帯の収入や預貯金額など資産要件のほか、ハローワークでの求職活動の要件を満たすことで、3人以上世帯の場合には、月額10万円が3カ月間支給される。

問 団塊世代が75才以上となる令和7年を見据えた方向性を伺う。

答 今後は「地域共生社会」の実現による福祉の視点を重視した「地域包括ケアシステム」をさらに推進していく。

一般質問



すぎもと かずのり
杉本 和範

問 コロナ禍での昨年度、今年度これまでの市内の感染状況の傾向は。

答 昨年度10月16日に本市で最初の感染者が確認され、3月までの6カ月間で合計17名、今年度4月から8月の5カ月間で75名の感染者が確認された。10代、20代については、4月、5月合わせて7名21%だったが、8月はひと月で15名41%となり倍増している。

問 このような傾向を踏まえ今後の対策は。

答 基本的な感染防止対策を徹底することを継続して市民に呼びかけ、特に、早期のワクチン接種が推奨されている妊婦や若い世代の方々にできるだけ早くワクチンを接種するよう呼びかけたい。

若い世代にコロナ情報届けるには！？



問 本市における幼保小連携の現状は。

答 現在本市においては小1プロブレムのよくな事案は見られず、連携に関しては「浜西市幼児教育センター」の設置や小学校のスタートカリキュラムなど先駆的な取り組みを評価いただいている。
意見 今後の少子化の中で、保育園統合や民営化が進むことは予想される中、子どもたち誰一人取り残さない今の先進的な取り組みが発展していく事を願う。



さかがみ かずよ
坂上 和代

問 高齢になり耳が遠くなって困っている人が多い。「加齢性難聴が認知症のリスク因子である」ということについての見解は。

答 難聴を放置するとコミュニケーションが阻害されることなどで認知機能の低下に繋がりが認知症のリスクであること認識している。

問 補聴器は1台15万円位で高額。購入費の公的助成は。

答 身体障害者手帳の保持者に対して購入費の補助をしている。

問 身体障害者手帳が交付されない加齢性難聴者への助成が必要と思うが見解を伺う。

答 国からの方針もなし、県内で助成している市町もない。国の動向や他市町の状況

加齢性難聴者へ補聴器購入助成について

を把握していく。
意見 国の助成は無いが、全国で43の自治体が助成している。本市も努力してほしい。

問 大飯原発の実質的な地元である小浜市が「同意権」がないなど立地地とは差別的な安全協定である。その見直しを求める働きかけは。

答 安全協定は状況に応じて改定を行ってきた。が、立地並み実現は厳しい。今後も粘り強く求めていく。

問 UPZ圏内の「安定ヨウ素剤の事前配布」の見解は。

答 避難の際に迅速な受け取りが困難な住民に対しては事前の配布が可能、というのが国の指針。県と関係市町で具体的な検討を進めている。

意見 事故が起きた大混乱の中での配布は、被爆を伴うし極めて困難。茨城県ひたちなか市など多くの自治体で事前配布を実施している。一日も早い実現を！



くまがい ひさえ
熊谷 久恵

問 財源の新型コロナウイルス感染症対応地地方創生臨時交付金の総額と目的別累計額は。

答 総額約9億2000万円。うち経済対策に約6億1000万円。感染防止対策（センサー式照明や自動水栓、自動検温器など）約2億2000万円。新しい生活様式への対応（Web会議などの環境整備）約9000万円。

問 コロナ禍での避難所運営の現状は。

答 密を避け避難者家族ごとに2m以上離れて座り、距離を確保できない場合は間仕切りで飛沫感染防止。発熱症状者は一般の避難者と動線を分け、別部屋へ案内。県の相談センターの指示を仰ぐ。現在指定避難所は36カ所。通常より収容で

的確な感染症対策と対策会議の運営を

きる人数が減少するため、原則全て開設する。
意見 密回避から車内での避難者も増加。新たな避難場所として駐車場・トイレがある公園、総合運動場は有効。非接触自動水栓などの統一した感染症対策の施設整備を。

問 俯瞰的かつ迅速な指針には専門性を持った意見や各課を統括する組織が必要では。

答 緊急経済対策チームや専門家を交えたワクチン接種対策チームを立ち上げ迅速に対応。適時、副市長をトップとしたコロナ感染症対策警戒会議で関係部局の連絡調整を図りトップダウンで対応。

意見 施設利用のガイドラインなどは事前に市民にも見える化を。



能登 恵子

問 今年の東京オリンピックでは、混合を除いたメダルは女子39個、男子25個という結果となる。なぜオリンピックを話題にするかと言うと、スポーツの世界も、社会生活も女性の社会活動を進めた裏の立役者は、生理用品の開発と普及でした。日本では、生理に対する不浄感、タブー意識が高く、初めて紙ナプキンが発売されたのは、欧米より40年も遅れた。女性の活躍と言いつながら、コロナ禍で不安定な立場が露呈し「若い世代の女性の自殺率増」「離職率増」「生理の貧困」問題が起っています。それを踏まえ国の対策は。

答 内閣府男女共同参画局では、「生理の貧困」に対する各自治体の取り組みをHPで掲載。

生理用品の整備や配布で女性の活躍支援

問 アウトリーチ型団体には、交付金制度あり。

答 児童生徒との直接的な対話による生理用品の配布が重要と考える。今後、養護教諭や生徒の意見を尊重し、配布用法や配布場所を検討していきたい。

問 多くの自治体は、防災備蓄品の供出だが。

答 小浜市では、自助の観点から各目準備していただく方針で、防災備蓄はないが量販店との物資供給協定を結んでいる。今後計画的に備蓄していきたい。

問 困窮者支援のためのストックは。

答 令和2年より、社会福祉協議会へ委託。そこでの相談の半数近くは、生活費について、生理用品など直接的な相談はない。言い出しにくいことでもあり、女性には女性の相談員にし、ストックなど実情に応じて対応。



下中 雅之

問 本市における在宅ケアのための医療と介護の連携について、今後の取り組みを伺う。

答 医師会と連携を図り、在宅医療が可能な医療機関の情報収集と体制づくりに努め、地域の中核病院である杉田玄白記念公立小浜病院との連携を進めていきたいと考えている。また、医療と介護の専門職が連携を図れるよう顔の見える関係づくりにも引き続き取り組んで参りたい。

問 権利擁護における小浜市の成年後見制度利用促進に対する、今後の取り組みを伺う。

答 令和3年度に策定する「小浜市地域福祉計画」と一体的に「小浜市成年後見制度利用促進計画」を策定し、令和4年3月中に小浜市地

バランスに欠けない施策の取り組みを！

域包括支援センターに、成年後見制度の広報、相談機能などを有する「中核機関」を設置し、制度を必要とする人がスムーズに利用できる体制を構築していきたい。

問 子ども医療費助成について、県内の自治体では、満18歳に達する年度末までに拡充している市町が増え、現在、対象年齢を拡充していない自治体は、小浜市の他、9市においては福井市、嶺南においては若狭町だけであるが、今後の方向性について伺う。

答 限られた財源を最大限に活用するため、子育て世帯のニーズを的確に捉え、事業を取捨選択していくことが、今日において必要不可欠なことと考えている。子ども医療費助成の対象年齢の拡充についても、この枠組みの中で、その優先度を適正に判断しながら引き続き検討していく考えである。



東野 浩和

問 重点支援地域に選定されたその内容および評価ポイントは。

答 過去6年間の特徴的な取組み、26項目の指標の可否および今後3カ年の地域活性化計画が総合的に審査され選定された。

(今までの取組み)

- ・よつぱらいサバ、へしこ、なれずしのブランドینگ
- ・鯖街道ウォーキング、鯖まんなどの新商品開発、鯖缶の宇宙食採択など多様な市民参画
- ・松永六感、小浜町家ステイ、シーオーベルジュなど御食園を活かした歴史空間の活用

問 今後3カ年で取り組む地域活性化計画は。

答 まずはこれまでの取組みを継続すること

日本遺産を活用した観光の現状と今後は

が重要と考える上で、以下の計画をバランスよく実施していく。

(具体的計画)

- ・鯖街道トレッキングやサイクリングの滞在拠点や案内看板の整備
- ・京都市や高島市との連携を進め、日本政府観光局の発信も活用した広域観光体制の確立
- ・「若狭おばま小鯛ささ漬」の調査研究と商品のブランド化
- ・神社仏閣での市民参画によるイベントの実施

問 観光による経済効果を測定する上で、産業連関表の導入や活用の考えは。

答 経済波及効果がより正確に把握できる有効な情報源になるものと考えている。しかし、作成にあたっては専門の知識と経験が必要となるため、まずは産業連関表を作成・活用している他の自治体の状況を研究していきたい。

一般質問



今井 伸治

問 小浜線の認識を問う。

答 小浜線は、敦賀・舞鶴間を結ぶ日本海側の幹線路線であるとともに、通勤・通学や買い物手段としての沿線地域の人々の暮らしを支え、産業や観光など地域振興に寄与する重要な交通機関である。また、北陸新幹線敦賀開業後は、首都圏や信越方面からの観光客やビジネス利用などの移動手段としてその重要度は益々高まると考えている。

問 小浜線の利用促進策を問う。

答 日常における新たな利用者の増加につながる回数券の購入助成について、現在の10%から50%に拡充し、2名以上で小浜線を利用するグループに対し、

みんなで乗って残そう 小浜線！

運賃の80%を助成の実施を予定している。さらに、市外の観光客の小浜線利用者の増加につなげるため、小浜線を利用して市内を訪れる観光宿泊者などに対して、市内のタクシー、レンタカーなどで利用できる3000円分の二次交通クーポン券の発行も考えている。

問 市民への広報・啓発策を問う。

答 小浜線利用促進協議会では、すでに実施している新規通勤定期券一カ月助成や小浜線フォトコンテスト開催をはじめ、公式ウェブサイトの開設や、乗って残そう運動の啓発ポスター作成による広報活動の強化を実施している。沿線住民に小浜線の存在の重要性などを理解していただき、支援を促すため、小浜線のサポーター制度を設立し、引き続き県や沿線市町と連携して利用促進に努めていく。

可決した意見書（概要）

※可決した意見書は国会や関係行政に提出しています。

地方財政の充実・強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の出現により、今地方自治体には新たに多くの行政需要が発生しています。

一方で、現実に公的サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、近年多発している大規模災害、またデジタル・ガバメントへの対応も迫られています。

新型コロナウイルス感染症への対応により巨額の財政出動が行われる中、2022年度以降の地方財源が十分に確保できるのか、大きな不安が残されています。

このため、2022年度の政府予算と地方財政の検討に当たり、下記の事項の実現を求めます。

（主な項目）

○社会保障、防災、環境、地域交通、人口減少、デジタル化対策など、増大する地方自治体の財政需要

を的確に把握し、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額の確保を図ること。

○とりわけ新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制の構築、感染症対応業務を含めた、より全体的な保健所体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス感染症対応事業、また地域経済の活性化までを踏まえた、十分な財源措置を図ること。

○子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、十分な社会保障経費の拡充を図ること。

○デジタル・ガバメントにおける自治体業務システムの標準化については、自治体の実情を踏まえつつ、速やかに実施すること。また、地域社会のデジタル化への対応を行うこと。

議員定数、議員報酬の在り方について

令和3年7月9日、議長から議会運営委員会に対して、議員定数・議員報酬の在り方について検討を求める諮問がなされました。

現在の議員定数・議員報酬については、平成30年12月に取りまとめた「小浜市議会の議員定数・議員報酬に関する検討結果報告書」に基づいています。

議会運営委員会では、今回の諮問を受け、改めて調査研究を進めています。

今号の表紙

「秋の神宮寺」

市民の方から写真を提供していただきました。

きれいな紅葉とお寺の佇まいを思い出し、久しぶりに足を運んだそうです。

（写真は、昨年11月に撮影されたものです。）

令和2年度決算を認定

一般会計

歳入 205億9,795万8,223円
歳出 199億1,897万4,386円

決算審査は、市の予算が適正に目的どおりに使われているのかを審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するための重要な役割を担っています。

審査については、まず予算決算常任委員会にて行い、さらに慎重に審査するため、総務民生・産業教育それぞれの分科会において調査を行う方法をとっています。

総務民生分科会

備蓄物資の有効活用を
原子力災害対策施設
維持管理経費
615万2307円

説明 原子力防災対策施設の備蓄物資などの維持管理を行う経費

問 備蓄する食料品の入替え、賞味期限を迎える食料品の処分および活用の状況は。

答 栽培漁業センター分は期限を迎える食料品の入替えを行い、市民体育館分については3カ年計画に基づき整備したところである。食料品については、期限が切れるまで備蓄した上で廃棄するが、中には期限が迫った食料品を小学校に提供し防災授業に役立てていただいた例もあり、今後有効な活用方法を検討していく。

意見 市民の防災訓練などにも活用し、防災意識の向上につなげてほしい。



備蓄物資

市民に給付金を支給 特別定額給付金給付事業

29億1430万9987円

説明 市民に特別定額給付金を給付する事業

問 申請書の郵送による送達状況および給付金支給率が100%に達しなかった理由は。

答 宛先不明などにより一部返戻された申請書については追跡調査を行い、宛先などを特定できた対象者には最終的に送付することができた。給付金の支給率が100%に達しなかったのは、申請辞退の申し出があったことが主な要因である。

調査業務の再検討を 小浜市空家等対策事業

84万2733円

説明 空き家調査のための委託料などの経費

問 空家調査整理業務および相続人調査業務の成果は。

答 空家調査整理業務は、市内の全区長に協力いただいた空家状況調査の内容整理のほか、新規の空き家については現地調査による建物の評価などを委託し、市で調査結果に基づき所有者などに文書による指導などを行っている。相続人調査業務は、

特定空家等に認定した物件について、相続関係が特に複雑な場合などに調査を依頼するもので、当該業務により相続人の特定につながった。

意見 相続人の把握については、空家等対策に関する特別措置法に基づき、市において戸籍謄本などの調査が可能であり、市が直接相続人調査を実施するほうが業務効率と費用対効果の面で有益であると考えられる。当該業務の委託の必要性について再度検討すべき。



9月定例会の様子

産業教育分科会

効率的な施設運営を
勤労福祉会館施設管理
経費

357万8525円

問 施設の稼働率が低下傾向にあるが、今後の方針は。

答 勤労福祉会館には複数の団体が入っているが、施設の老朽化も進んでおり、修繕ができていない会議室もある。現在、市では公共施設の状況調査に取り組んでおり、他施設の状況も見ながら検討していきたい。

意見 文化会館や働く婦人の家など貸館業務が可能な施設の集約など、効率的な公共施設の維持管理を求める。



勤労福祉会館 (後瀬町)



スクールバス通学の様子

スクールバス運行の財源確保を
小学校スクールバス運行事業

7168万8600円

問 小浜美郷小学校のスクールバス運行に係る今後の財源見込みは。

答 当該運行事業に対する国庫補助金は小学校統合後5年間という期限が設けられており、6年目以降は一般財源を充てることとなる。このため、国・県への重要要望事項として、国庫補助金の活用期間の延長を求めている。

未収金の回収に尽力を
小浜市水道事業会計決算
未収金

4448万694円

問 未回収の水道料金の回収方法は。

答 未納者に対しては、通知を2回送達したにもかかわらず、反応が得られない場合や、計画的な納付が確認できない場合は水道を止める措置をとることもある。過年度分の収納率は20%前後で推移しており、根気よく納付相談を実施し、計画的に納付してもらえよう努めている。

意見 誠実に水道料金を納めている人との不公平がないように未収金の回収に尽力してほしい。



令和3年第3回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について	認定	令和2年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について		令和2年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	議会の委任による専決処分報告について(損害賠償の額を定めることについて)		令和2年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
予算	令和3年度小浜市一般会計補正予算(第6号)		令和2年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和3年度小浜市一般会計補正予算(第7号)※		令和2年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和3年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)※		令和2年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和3年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)※		令和2年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和3年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)※		令和2年度小浜市水道事業会計決算の認定について
	令和3年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)※		令和2年度小浜市下水道事業会計決算の認定について
	令和3年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)		人事
令和3年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(古田 幸志氏)		
陳情 意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	決議	JR小浜線の維持・活性化を求める決議
	地方財政の充実・強化を求める意見書		その他

※能登恵子議員は欠席

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
○=賛成 ×=反対 除=除斥(規定により採決に加われない) 棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	杉本和範	東野浩和	川代雅和	坂上和代	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対
条例	小浜市監査委員に関する条例の一部改正について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0
請願	新型コロナウイルス禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める請願書	否	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	1	15

※小澤長純議員は議長のため採決には加わっておりません

可決した決議

JR小浜線の維持・活性化を求める決議

JR小浜線の維持・活性化を求める決議を10月5日に全会一致で可決しました。

決議に基づき、本市の重要な交通機関であるJR小浜線を維持・活性化していくため、同月7日にJR西日本金沢支社に赴き、次の事項についてJR西日本の理解と協力を強く申し入れました。

一 JR小浜線は優等列車が走っており、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、経営分離される並行在来線には該当しない旨、速やかに明らかにすること。

一 地域住民の生活や産業を支える重要な交通機関である小浜線について、これ以上の運行本数の削減や駅の無人化などの性急な合理化を行わないこと。

一 「嶺南地域公共交通網形成計画」に基づき、小浜線の利便性の向上を図るとともに、特に北陸新幹線福井・敦賀開業のときには、運行本数の増便を含めた観光誘客について積極的に協力すること。



鹿野室長に決議書を手渡す小澤議長

写真右から

JR西日本金沢支社交通企画室長

鹿野 剛史氏

小浜市議会議長

小澤 長純

北陸新幹線早期全線開業特別委員会
委員長

下中 雅之

北陸新幹線早期全線開業特別委員会
副委員長

今井 伸治

委員会審査（契約の締結に関するもの）

総務民生常任委員会

新・健康管理センター整備事業

新築（建築）工事請負契約の締結について

新・健康管理センター整備事業

新築（電気設備）工事請負契約の締結について

説明 それぞれ1億5000万円以上の契約を締結するため、地方自治法などの規定により、議会の議決を求めるもの。

えている。また、工期については、工事の規模などを踏まえ設定しており、現状において計画どおり完了するものと見込んでいる。

問 契約の方法が、制限付き一般競争入札になっている。その制限内容は。

答 地方自治法施行令に基づき、建築一式工事の登録業者でA等級を代表者とし、その他A等級またはB等級の3社で構成された共同企業体であること、市内に主たる営業所を構えている業者であることなどを制限内容とした。

問 今後の資材の価格上昇および工事の遅延などにより契約内容に変更が生じた場合の対応は。

答 資材価格については、事前の見積もりでの確認において工期中の変動はないものと見込んでいるが、万が一不測の事態が発生した場合は、事業者と協議の上、契約の変更を行いたいと考



新・健康管理センターの完成イメージ図（南川町）

❖ 議会活動日誌 ❖

(主な活動のみ掲載しています)

7月

日	曜	行事等内容
1	木	社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式、2021年原水爆禁止国民平和行進 広報委員会
4	日	綱女顕彰祭
5	月	若狭広域行政事務組合議会代表者会議(若狭町)
6	火	若狭消防組合議会臨時会、公立小浜病院組合議会臨時会
8	木	若狭マリンピア2021実行委員会、国道162号小浜南丹間道路整備促進期成同盟会会計監査
9	金	広報委員会
12	月	全員協議会、議会運営委員会、総務民生常任委員会、産業教育常任委員会
13	火	広報委員会
16	金	嶺南広域行政組合議会臨時会(敦賀市)、若狭広域行政事務組合議会臨時会(若狭町)、福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)
20	火	地域防災・原子力安全対策特別委員会
25	日	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会(福井市)
27	火	議会運営委員会
28	水	北陸新幹線早期全線開業特別委員会、議会報告会連絡会
30	金	嶺南市町議長会定例会(敦賀市)

8月

日	曜	行事等内容
2	月	総務民生常任委員会
8	日	万灯祭
10	火	福井県市議会議長会定期総会(福井市) 広報委員会
11	水	全員協議会、議会運営委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会
13	金	令和3年度全国高等学校総合体育大会開会式(越前市)
19	木	議会運営委員会
20	金	全員協議会、議会報告会連絡会
24	火	議会運営委員会

日	曜	行事等内容
26	木	令和3年第3回(9月)定例会、予算決算常任委員会全体会
27	金	広報委員会、公立小浜病院組合議会
30	月	総務民生常任委員会・分科会
31	火	産業教育常任委員会・分科会

9月

日	曜	行事等内容
8	水	議会運営委員会 小浜市表彰選考委員会
9	木	令和3年第3回(9月)定例会(一般質問)、全員協議会
10	金	令和3年第3回(9月)定例会(一般質問)、総務民生常任委員会
13	月	議会運営委員会、予算決算常任委員会全体会、全員協議会、地域防災・原子力安全対策特別委員会
14	火	総務民生常任委員会
16	木	令和3年第3回(9月)定例会、産業教育常任委員会
17	金	総務民生分科会(決算)
21	火	総務民生分科会(決算)
22	水	産業教育分科会(決算)
24	金	産業教育分科会(決算)
29	水	北陸新幹線早期全線開業特別委員会、予算決算常任委員会管内視察

10月

日	曜	行事等内容
1	金	予算決算常任委員会全体会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会、総務民生常任委員会
4	月	議会運営委員会
5	火	令和3年第3回(9月)定例会、全員協議会、議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会、広報委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会は書面決議、小浜市・若狭町総合振興協議会および小浜市・おおい町総合振興協議会は中止となりました。

12月定例会の予定

— 議会を傍聴しませんか? —

- 11月30日(火) 本会議・予算決算常任委員会
- 12月3日(金) 産業教育常任委員会(分科会調査)
- 12月6日(月) 総務民生常任委員会(分科会調査)
- 12月14日(火) 一般質問
- 12月15日(水) //
- 12月16日(木) 予算決算常任委員会
- 12月20日(月) 本会議



本会議の傍聴の様子

予算決算常任委員会では、令和2年度の決算審査の一環として、9月29日に全議員17名で市内5カ所の視察を行いました。

都市再生整備計画事業（小浜まちなか地区）

事業費のうち工事請負費：1億255万2,000円
小浜まちなか地区の側溝・舗装工事、観光案内サインなどを整備



八幡神社前(小浜男山)



リブカラー舗装

地域協働型学生活動「小浜Rキャンプ」準備事業（はまかぜプラザ）

事業費：380万7,400円
将来の定住人口の獲得を目的に、学生が地域住民と共にコミュニティ活性化や地域資源の掘り起こしなどを行う「小浜Rキャンプ」の活動拠点を整備



はまかぜプラザ(小浜酒井)



内装、エアコンなどの整備

道の駅若狭おばま 農産物活用による地域循環プロジェクト（レストラン整備工事／おくどさん）

事業費：7,534万4,500円
令和3年6月15日オープン。北陸新幹線敦賀開業を控え、観光地や「食のまち」としての魅力を高めるため、四季菜館を地元のお米や野菜をふんだんに使ったレストランに改修



おくどさんの店内(和久里)



入口付近

嶺南スマートエリア推進事業（EVカーシェア／東小浜駅前）

事業費：320万793円
多様なエネルギーを活用した地域経済の活性化やまちづくりを目指す「嶺南Eコスト計画」に基づき、官民一体となってスマートエリアの整備を促進。実証実験の1つとして東小浜駅駐車場にシェアEVステーションを整備



EVカーシェア(遠敷)

市営体育施設管理事業（小浜市総合運動場テニスコート改修工事）

- 事業費のうちテニスコート改修工事費：5,709万円
- ・テニスコート人工芝張替 6面
 - ・ネットポスト取替 6基
 - ・審判台取替 8基



テニスコート(口田縄)

●ホームページがリニューアルしました

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後2週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。



編集後記

新メンバーでの2号目となり、分担任や担当メンバーとの連携も軌道に乗ってききました。さらなる読みやすさと内容のチョイスに努めます。ご意見をいただけたらありがたいです。（能登）



広報委員長
副委員長
委員

垣本正直
能登恵子
下中雅之
藤田靖人
牧岡輝雄
杉本和範